

ゆたか



No. 1 1
 令和5年3月1日(水)
 上尾市立南中学校長 武田 直美
 TEL 048-781-2299
 メール s739000@city-ageo.ed.jp



「ステップアップ」

校長 武田 直美

令和4年度も残りわずかとなりました。3年生はいよいよ卒業です。中学校の3年間でいろいろな経験をし、仲間と一緒にたくさんの思い出をつくったことと思います。その思い出を大切に、中学校で学んだことを糧として今後も努力を続け、新しい世界へと羽ばたいてほしいと思っています。また、中学校を卒業すると様々な場面で自己責任が問われるようになります。自己の考えをしっかりもち、社会の一員としての自覚と責任をもって毎日の生活を送ってください。

1、2年生も進級です。これまで以上に授業や諸活動に真剣に取り組むことが必要となってきます。先輩方を手本とし、後悔しない充実した学校生活を送れるようにしましょう。

さて、人間の能力をグラフ化したときに使われる言葉で「成長曲線」というものがあります。「人間の能力は、一定の努力を継続させると、飛躍的に伸びる時期と停滞する時期が交互に訪れる」と言われています。これを勉強に当てはめると、毎日、勉強を継続していれば、伸び悩むことはあっても、ある時期から急に成績が伸びるようになるということです。また、運動に関して言えば、毎日のトレーニング(練習)を欠かさずに行っていくうちに、ある日突然「できた!」という経験をした人もいないのでしょうか。スポーツジムの専門のトレーナーに話を聞くと、自分が頑張れるギリギリよりも少し大変なくらいのトレーニングを続けると、筋力がアップしていくと言っていました。そのように考えていくと、何事も一直線に成長するものではなく、伸びたり停滞したりを階段のように繰り返しながら上昇していくものと考えられます。大きくジャンプするためには、1回しゃがんでからその反動で(バネのように)ジャンプします。物事の原理・原則とはそういうものなのかもしれません。

卒業を機に3年生は南中学校を巣立ちます。1、2年生は4月にそれぞれ進級をします。3月は次のステージへのステップアップの準備期間でもあります。大きく飛躍するためにも、今は力をためる時です。先ほどの話で言えば、高くジャンプする(=飛躍する)ために、膝を曲げて力をためる(=準備をする)時と言えるでしょう。ここで一番伝えたいことは、「人間の能力は、一定の努力をあきらめずに継続すれば、飛躍的に伸びる時期と停滞する時期が交互に訪れる」ということで、「一定の努力をあきらめずに続ける」ということです。日々の鍛錬が大前提だというこの言葉の意味を噛みしめてほしいのです。

年度初めに「厳しさの先にある 本当の楽しさをつかもう」の話をしました。この楽しさとは、「真の楽しさ=物事の本質を知る」ということ私は言っています。4月に大きく「ステップアップ」できる自分づくりを期待しています。少し早いですが、1年間お疲れ様。そして、ありがとう。

令和4年度も保護者の皆様、地域の皆様の本校の教育活動への御理解・御協力をいただき、誠にありがとうございました。令和5年度もより一層、「チーム南中」で頑張ります。よろしく願いいたします。

3月行事予定

日	曜	行 事	給食
1	水	授業順①②③④⑤ 3年生を送る会準備(放課後)	○
2	木	授業順: 木①②④③+3年生を送る会	○
3	金	県公立高校入学許可候補者発表 部活動なし 第5回学校施設開放委員会18:00	○
4	土		—
5	日		—
6	月	授業順⑤④③②① 3年追検査 第11回中央委員会	○
7	火	3年スケート教室 第11回専門委員会 部活動なし	○
8	水	3年追検査入学許可候補者発表 3年球技大会 第5回学校運営協議会15:00	○
9	木	1, 2年合同卒業証書授与式練習⑤ 部活動なし	○
10	金	授業順④③⑤⑥ 「生命の講演会」(3年③1, 2年④) 期末処理期間	○
11	土		—
12	日		—
13	月	授業順: 水⑤+卒業証書授与式予行②③④ 期末処理期間	○
14	火	授業順①②③④+卒業証書授与式前日準備 スクールカウンセラー来校 部活動なし	○
15	水	第44回卒業証書授与式(部活動なし)	×
16	木	授業順: 木⑥月①②④水⑥ 期末処理期間	3時X
17	金	授業順: 金①②⑥火⑤⑥ 期末処理期間	3時X
18	土		—
19	日		—
20	月	給食終了日 1年授業参観・学級懇談会 2年進路講演会・学年懇談会 部活動なし	3時X
21	火	春分の日	—
22	水	授業順①②④ 第3回学校安全パトロール会議15:30	—
23	木	あいさつ運動 学年集会(1年①、2年②)、大掃除③	—
24	金	修了式 あいさつ運動 部活動なし	—
25	土		—
26	日		—
27	月	学年末休業日	—
28	火		—
29	水		—
30	木	新入生ジャージ受取9:00~12:00	—
31	金		—

4月の主な予定（変更の可能性あり）

- 1（土）～9（日）春季休業日
- 10（月）始業式、入学式、あいさつ運動
- 11（火）対面式、新入生歓迎会、あいさつ運動
- 12（水）進級クラス写真撮影、あいさつ運動、給食開始、部活動見学（～13日）
- 13（木）身体測定①②③、避難訓練⑥
- 14（金）第1期時間割試行、第1回専門委員会
- 17（月）第1回生徒朝会（生徒会本部）、授業参観⑤、学級懇談会⑥
- 18（火）3年全国学力・学習状況調査、1年部活動仮入部（～20日、25日）
- 20（木）1年心臓検診、第1回学校安全パトロール会議 15：30
- 21（金）第1期時間割実施
- 25（火）仮入部 26（水）第1回学校運営協議会、部活動編成
- 27（木）第1回学校施設開放委員会 18：00
- 29（土）昭和の日

1年生、思い出に残るスキー教室になりました！

2月1日（水）～3日（金）2泊3日で、長野県北志賀高原にてスキー教室を実施しました。先月は、2年生のスキー教室があり、同じ場所でスキー教室が行われました。初めてスキーをする生徒、また、たくさん雪が積もっているのを初めて見る生徒など、埼玉では経験できないことを五感で思う存分満喫しました。ホテル内の過ごし方については、1日目は、時間の意識等で先生方に注意を受ける場面がありましたが、2日目、3日目と自分たちで生活を見直し、しっかり過ごすことができました。スキーの講習では、インストラクターの話を聞いて、初めてスキーをした生徒も、3日目は、とても上手に滑ることが出来ました。今回のスキー教室のスローガン「絆～スキー教室で仲間と心を分かり合えるように～」は、3日間の生徒達の過ごし方を見て、十分達成できたと思います。今後は、スキー教室で培ったことを日頃の生活でいかされることを期待したいと思います。



令和4年度 学校評価について

生徒及び保護者のアンケートのご協力をいただき、学校自己評価を行い、先日、学校関係者評価委員会を実施しました。詳細は、学校ホームページにも掲載いたしますので、ご覧ください。

【用語の説明】

- ①学校自己評価
生徒及び保護者のアンケートを参考に教職員が自校の教育活動を評価したもの
- ②学校関係者評価
学校が行った評価（学校自己評価）を学校関係者評価委員会が評価したもの

《ア 学校自己評価の結果》 (％)

※4：よく当てはまる 3：やや当てはまる 2：あまり当てはまらない 1：全く当てはまらない

	評価項目	3,4 割合		評価項目	3,4 割合
1	学校教育目標	100.0	16	自己研修	90.9
2	学級目標の達成	100.0	17	校内研修	91.0
3	豊かな人間性育成	100.0	18	学力向上プラン	100.0
4	たくましい心身の育成	100.0	19	道徳教育	100.0
5	考え・学び合う力の育成	100.0	20	「チーム南」として	100.0
6	総合的な学習の時間	100.0	21	学習環境づくり	95.4
7	補習	72.7	22	校内巡回	90.9
8	ICTの活用授業	95.4	23	整理整頓・環境保全・施設設備	100.0
9	学習の工夫	100.0	24	あいさつ運動・下校指導	95.4
10	問題解決的な学習	90.9	25	ヘルメット着用指導	100.0
11	あいさつの指導	95.5	26	学校運営協議会	81.8
12	授業での返事の指導	90.9	27	接遇	100.0
13	時間を守る生徒の育成	100.0	28	学年・学級通信・HP	86.4
14	自問清掃	86.3	29	専門機関との連携	100.0
15	落ち着いた学校	100.0	30	SDGsとボランティア	95.4

（概要）学校自己評価で3,4の割合で80%以上の評価項目は、30項目中29項目である。

全体的に学校自己評価の数値は高く、バランスのよい教育活動が展開されていると評価する。特に、評価が高い項目は、「学校教育目標」「時間を守る生徒の育成」「落ち着いた学校」「ヘルメット着用指導」等がある。今後も生徒に生きる力の育成を図るために、研修を踏まえて学校全体で取り組んでいく。さらに、性の多様性等の人権意識の醸成、水害・地震に対する防災意識の醸成を図れるよう意図的、計画的に取り組んでいく。課題として、「補習の計画的な実施」「学校運営協議会員と職員との情報交換の場の設定」があった。「補習」については、計画を立て、確実な実施を図ること、「学校運営協議会との情報提供の場の設定」については、学校運営協議会主催事業に積極的に教職員を参加させるなどの対応をし、地域と学校との連携をより強化させ、教育活動に反映していく考えである。

《イ 学校関係者評価》

（概要）「妥当」と評価する。教職員の努力が反映された結果である。しかし、様々な課題の背景には、教員の多忙が存在し、大胆な変革が必要である。また、アンケートについては、当事者（学校）が今後どうするかを考えると同時に、結果及び今後の対応等について、生徒・保護者にフィードバックできるようになるとよいと思う。